

平成19年2月19日

平成19年度当初予算内示資料

新 庄 市

目 次

平成19年度歳入歳出予算の総計表及び純計表……………	1
平成19年度一般会計予算事項別明細総括表……………	2
平成19年度国民健康保険事業特別会計予算事項別明細総括表……………	3
平成19年度交通災害共済事業特別会計予算事項別明細総括表……………	3
平成19年度老人保健事業特別会計予算事項別明細総括表……………	4
平成19年度公共下水道事業特別会計予算事項別明細総括表……………	4
平成19年度農業集落排水事業特別会計予算事項別明細総括表……………	5
平成19年度営農飲雑用水事業特別会計予算事項別明細総括表……………	5
平成19年度介護保険事業特別会計予算事項別明細総括表……………	6
一般会計性質別経費調 ……………	7
一般会計投資的経費の内訳 ……………	8
一般会計投資的経費以外の主要事業 ……………	9

平成19年度 歳入歳出予算の総計表及び純計表

(単位 千円)

会 計 間	歳 入			歳 出			
	予 算 額	う ち 繰 入 先		予 算 額	う ち 繰 出 先		
		繰入先の会計	予 算 額		繰出先の会計	予 算 額	
一 般 会 計	13,085,000	国民健康保険、老人保健 介護保険		4,909	13,085,000	国民健康保険、交通災害共 済、老人保健、公共下水道、 農業集落排水、営農飲雑用 水、介護保険、水道	1,745,350
特 別 会 計	13,089,273		1,745,350	13,686,466			4,909
内 訳	国民健康保険事業	4,141,506	一 般 会 計	244,940	4,141,506	一 般 会 計	4,901
	交通災害共済事業	9,674	一 般 会 計	68	9,674		
	老人保健事業	3,340,716	一 般 会 計	273,097	3,340,716	一 般 会 計	7
	公共下水道事業	1,553,785	一 般 会 計	625,710	1,553,785		
	農業集落排水事業	87,330	一 般 会 計	66,776	87,330		
	営農飲雑用水事業	64,783	一 般 会 計	8,886	64,783		
	介護保険事業	2,488,065	一 般 会 計	334,918	2,488,065	一 般 会 計	1
	水道事業	1,403,414	一 般 会 計	190,955	2,000,607		
総 計	(A) 26,174,273		(B) 1,750,259	(C) 26,771,466		(D) 1,750,259	
会 計 間 の 重 複 額	(B) 1,750,259			(D) 1,750,259	水道損益勘定留 保資金充当額等 (E) 597,193		
純 計	(A) - (B) 24,424,014			(C) - (D) - (E) 24,424,014			

平成19年度一般会計予算事項別明細総括表

(歳入)

(単位 千円、%)

款	平成19年度	平成18年度	比較増減	構成比	伸び率
1. 市 税	4,668,170	4,301,659	366,511	35.7%	8.5%
2. 地 方 譲 与 税	169,000	441,000	△ 272,000	1.3%	△ 61.7%
3. 利 子 割 交 付 金	13,000	11,000	2,000	0.1%	18.2%
4. 配 当 割 交 付 金	9,000	2,200	6,800	0.1%	309.1%
5. 株 式 譲 渡 所 得 割 交 付 金	8,000	2,700	5,300	0.1%	196.3%
6. 地 方 消 費 税 交 付 金	460,000	471,000	△ 11,000	3.5%	△ 2.3%
7. ゴルフ場利用税交付金	8,000	8,000	0	0.1%	0.0%
8. 自 動 車 取 得 税 交 付 金	72,000	72,000	0	0.5%	0.0%
9. 地 方 特 例 交 付 金	55,000	69,000	△ 14,000	0.4%	△ 20.3%
10. 地 方 交 付 税	4,480,000	4,500,000	△ 20,000	34.2%	△ 0.4%
11. 交通安全対策特別交付金	8,400	8,400	0	0.1%	0.0%
12. 分 担 金 及 び 負 担 金	334,279	338,574	△ 4,295	2.5%	△ 1.3%
13. 使 用 料 及 び 手 数 料	243,054	229,099	13,955	1.9%	6.1%
14. 国 庫 支 出 金	618,671	709,271	△ 90,600	4.7%	△ 12.8%
15. 県 支 出 金	625,064	538,499	86,565	4.8%	16.1%
16. 財 産 収 入	9,888	133,672	△ 123,784	0.1%	△ 92.6%
17. 寄 附 金	1	1	0	0.0%	0.0%
18. 繰 入 金	85,992	121,639	△ 35,647	0.6%	△ 29.3%
19. 繰 越 金	180,000	180,000	0	1.4%	0.0%
20. 諸 収 入	326,781	291,286	35,495	2.5%	12.2%
21. 市 債	710,700	806,000	△ 95,300	5.4%	△ 11.8%
歳 入 合 計	13,085,000	13,235,000	△ 150,000	100.0%	△ 1.1%

(歳出)

款	平成19年度	平成18年度	比較増減	構成比	伸び率
1. 議 会 費	184,429	197,489	△ 13,060	1.4%	△ 6.6%
2. 総 務 費	1,446,630	1,439,508	7,122	11.1%	0.5%
3. 民 生 費	3,310,667	3,317,084	△ 6,417	25.3%	△ 0.2%
4. 衛 生 費	1,586,670	1,589,272	△ 2,602	12.1%	△ 0.2%
5. 労 働 費	61,848	62,054	△ 206	0.5%	△ 0.3%
6. 農 林 水 産 業 費	749,539	728,198	21,341	5.7%	2.9%
7. 商 工 費	498,326	390,051	108,275	3.8%	27.8%
8. 土 木 費	1,290,241	1,472,280	△ 182,039	9.9%	△ 12.4%
9. 消 防 費	597,557	646,430	△ 48,873	4.6%	△ 7.6%
10. 教 育 費	1,154,189	1,150,711	3,478	8.8%	0.3%
11. 災 害 復 旧 費	4	4	0	0.0%	0.0%
12. 公 債 費	2,184,899	2,221,918	△ 37,019	16.7%	△ 1.7%
13. 諸 支 出 金	1	1	0	0.0%	0.0%
14. 予 備 費	20,000	20,000	0	0.1%	0.0%
歳 出 合 計	13,085,000	13,235,000	△ 150,000	100.0%	△ 1.1%

平成19年度国民健康保険事業特別会計予算事項別明細総括表
(歳入) (単位 千円、%)

款	平成19年度	平成18年度	比較増減	構成比	伸び率
1. 国民健康保険税	1,389,675	1,394,360	△ 4,685	33.5%	△ 0.3%
2. 使用料及び手数料	500	500	0	0.0%	0.0%
3. 国庫支出金	1,183,616	1,198,475	△ 14,859	28.6%	△ 1.2%
4. 療養給付費交付金	603,099	533,582	69,517	14.6%	13.0%
5. 県支出金	178,051	185,382	△ 7,331	4.3%	△ 4.0%
6. 共同事業交付金	483,389	87,344	396,045	11.7%	453.4%
7. 財産収入	581	78	503	0.0%	644.9%
8. 繰入金	244,941	208,150	36,791	5.9%	17.7%
9. 繰越金	30,001	30,001	0	0.7%	0.0%
10. 諸収入	27,653	32,914	△ 5,261	0.7%	△ 16.0%
歳入合計	4,141,506	3,670,786	470,720	100.0%	12.8%

(歳出)

款	平成19年度	平成18年度	比較増減	構成比	伸び率
1. 総務費	35,269	29,185	6,084	0.9%	20.8%
2. 保険給付費	2,693,105	2,587,150	105,955	65.0%	4.1%
3. 老人保健拠出金	592,126	605,455	△ 13,329	14.3%	△ 2.2%
4. 介護納付金	274,229	296,243	△ 22,014	6.6%	△ 7.4%
5. 共同事業拠出金	474,177	75,582	398,595	11.5%	527.4%
6. 保健事業費	10,014	10,088	△ 74	0.2%	△ 0.7%
7. 財産費	583	80	503	0.0%	628.8%
8. 公債費	1	1	0	0.0%	0.0%
9. 諸支出金	32,002	37,002	△ 5,000	0.8%	△ 13.5%
10. 予備費	30,000	30,000	0	0.7%	0.0%
歳出合計	4,141,506	3,670,786	470,720	100.0%	12.8%

平成19年度交通災害共済事業特別会計予算事項別明細総括表
(歳入) (単位 千円、%)

款	平成19年度	平成18年度	比較増減	構成比	伸び率
1. 交通災害共済事業収入	9,414	9,437	△ 23	97.3%	△ 0.2%
2. 財産収入	190	19	171	2.0%	900.0%
3. 繰入金	68	61	7	0.7%	11.5%
4. 繰越金	1	1	0	0.0%	0.0%
5. 諸収入	1	1	0	0.0%	0.0%
歳入合計	9,674	9,519	155	100.0%	1.6%

(歳出)

款	平成19年度	平成18年度	比較増減	構成比	伸び率
1. 事業費	9,674	9,519	155	100.0%	1.6%
歳出合計	9,674	9,519	155	100.0%	1.6%

平成19年度老人保健事業特別会計予算事項別明細総括表

(歳入)

(単位 千円、%)

款	平成19年度	平成18年度	比較増減	構成比	伸び率
1. 支払基金交付金	1,724,970	1,919,337	△ 194,367	51.6%	△ 10.1%
2. 国庫支出金	1,072,055	1,095,551	△ 23,496	32.1%	△ 2.1%
3. 県支出金	267,588	273,462	△ 5,874	8.0%	△ 2.1%
4. 繰入金	273,097	279,488	△ 6,391	8.2%	△ 2.3%
5. 繰越金	1	1	0	0.0%	0.0%
6. 諸収入	3,005	2,005	1,000	0.1%	49.9%
歳入合計	3,340,716	3,569,844	△ 229,128	100.0%	△ 6.4%

(歳出)

款	平成19年度	平成18年度	比較増減	構成比	伸び率
1. 総務費	7,204	7,722	△ 518	0.2%	△ 6.7%
2. 医療諸費	3,333,503	3,562,113	△ 228,610	99.8%	△ 6.4%
3. 諸支出金	9	9	0	0.0%	0.0%
歳出合計	3,340,716	3,569,844	△ 229,128	100.0%	△ 6.4%

平成19年度公共下水道事業特別会計予算事項別明細総括表

(歳入)

(単位 千円、%)

款	平成19年度	平成18年度	比較増減	構成比	伸び率
1. 分担金及び負担金	20,784	19,857	927	1.3%	4.7%
2. 使用料及び手数料	299,808	296,804	3,004	19.3%	1.0%
3. 国庫支出金	161,300	70,000	91,300	10.4%	130.4%
4. 繰入金	625,710	653,756	△ 28,046	40.3%	△ 4.3%
5. 繰越金	1	1	0	0.0%	0.0%
6. 諸収入	5,182	4,853	329	0.3%	6.8%
7. 市債	441,000	442,100	△ 1,100	28.4%	△ 0.2%
歳入合計	1,553,785	1,487,371	66,414	100.0%	4.5%

(歳出)

款	平成19年度	平成18年度	比較増減	構成比	伸び率
1. 総務費	244,961	237,783	7,178	15.8%	3.0%
2. 建設費	379,276	225,479	153,797	24.4%	68.2%
3. 公債費	929,548	1,024,109	△ 94,561	59.8%	△ 9.2%
歳出合計	1,553,785	1,487,371	66,414	100.0%	4.5%

平成19年度農業集落排水事業特別会計予算事項別明細総括表
(歳入) (単位 千円、%)

款	平成19年度	平成18年度	比較増減	構成比	伸び率
1. 分担金及び負担金	100	100	0	0.1%	0.0%
2. 使用料及び手数料	20,452	20,388	64	23.4%	0.3%
3. 繰入金	66,776	69,871	△ 3,095	76.5%	△ 4.4%
4. 繰越金	1	1	0	0.0%	0.0%
5. 諸収入	1	1	0	0.0%	0.0%
歳入合計	87,330	90,361	△ 3,031	100.0%	△ 3.4%

(歳出)

款	平成19年度	平成18年度	比較増減	構成比	伸び率
1. 農業集落排水事業費	23,127	24,225	△ 1,098	26.5%	△ 4.5%
2. 公債費	64,203	66,136	△ 1,933	73.5%	△ 2.9%
歳出合計	87,330	90,361	△ 3,031	100.0%	△ 3.4%

平成19年度営農飲雑用水事業特別会計予算事項別明細総括表
(歳入) (単位 千円、%)

款	平成19年度	平成18年度	比較増減	構成比	伸び率
1. 分担金及び負担金	1	1	0	0.0%	0.0%
2. 使用料及び手数料	20,893	21,375	△ 482	32.3%	△ 2.3%
3. 繰入金	8,886	6,081	2,805	13.7%	46.1%
4. 繰越金	1	1	0	0.0%	0.0%
5. 諸収入	2	2	0	0.0%	0.0%
6. 市債	35,000	0	35,000	54.0%	皆増
歳入合計	64,783	27,460	37,323	100.0%	135.9%

(歳出)

款	平成19年度	平成18年度	比較増減	構成比	伸び率
1. 営農飲雑用水事業費	64,783	27,460	37,323	100.0%	135.9%
歳出合計	64,783	27,460	37,323	100.0%	135.9%

平成19年度介護保険事業特別会計予算事項別明細総括表

(歳入)

(単位 千円、%)

款	平成19年度	平成18年度	比較増減	構成比	伸び率
1. 介護保険料	453,268	445,484	7,784	18.2%	1.7%
2. 使用料及び手数料	80	80	0	0.0%	0.0%
3. 国庫支出金	569,879	567,106	2,773	22.9%	0.5%
4. 支払基金交付金	751,410	747,701	3,709	30.2%	0.5%
5. 県支出金	378,472	375,908	2,564	15.2%	0.7%
6. 財産収入	30	5	25	0.0%	500.0%
7. 繰入金	334,919	341,077	△ 6,158	13.5%	△ 1.8%
8. 繰越金	1	1	0	0.0%	0.0%
9. 諸収入	6	6	0	0.0%	0.0%
歳入合計	2,488,065	2,477,368	10,697	100.0%	0.4%

(歳出)

款	平成19年度	平成18年度	比較増減	構成比	伸び率
1. 総務費	24,498	27,137	△ 2,639	1.0%	△ 9.7%
2. 保険給付費	2,407,713	2,399,798	7,915	96.8%	0.3%
3. 財政安定化基金拠出金	1,288	1,288	0	0.1%	0.0%
4. 地域支援事業費	53,287	47,936	5,351	2.1%	11.2%
5. 基金積立金	30	5	25	0.0%	500.0%
6. 公債費	1	1	0	0.0%	0.0%
7. 諸支出金	203	203	0	0.0%	0.0%
8. 予備費	1,045	1,000	45	0.0%	4.5%
歳出合計	2,488,065	2,477,368	10,697	100.0%	0.4%

一般会計性質別経費調

(単位 千円、%)

区 分	平成19年度		平成18年度		比 較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増 減	伸び率
人 件 費	3,071,705	23.5%	3,163,287	23.9%	△ 91,582	△ 2.9%
扶 助 費	1,464,090	11.2%	1,492,836	11.3%	△ 28,746	△ 1.9%
公 債 費	2,184,899	16.7%	2,221,918	16.8%	△ 37,019	△ 1.7%
小計①	6,720,694	51.4%	6,878,041	52.0%	△ 157,347	△ 2.3%
物 件 費	1,221,890	9.3%	1,136,254	8.6%	85,636	7.5%
維 持 補 修 費	315,940	2.4%	306,826	2.3%	9,114	3.0%
補 助 費 等	2,223,209	17.0%	2,147,188	16.2%	76,021	3.5%
投 資 及 び 出 資 金	19,101	0.2%	19,921	0.1%	△ 820	△ 4.1%
貸 付 金	201,451	1.5%	160,280	1.2%	41,171	25.7%
積 立 金	655	0.0%	71	0.0%	584	822.5%
繰 出 金	1,691,422	12.9%	1,693,877	12.8%	△ 2,455	△ 0.1%
予 備 費	20,000	0.2%	20,000	0.2%	0	0.0%
小計②	5,693,668	43.5%	5,484,417	41.4%	209,251	3.8%
小計①+②	12,414,362	94.9%	12,362,458	93.4%	51,904	0.4%
投 資 的 経 費 ③	670,638	5.1%	872,542	6.6%	△ 201,904	△ 23.1%
補 助	989	0.0%	11,874	0.1%	△ 10,885	△ 91.7%
単 独	599,349	4.6%	731,203	5.5%	△ 131,854	△ 18.0%
県営事業負担金	70,300	0.5%	129,465	1.0%	△ 59,165	△ 45.7%
合計①+②+③	13,085,000	100.0%	13,235,000	100.0%	△ 150,000	△ 1.1%

一般会計投資的経費の内訳

(単位 千円)

	事業名	事業費	内 訳	
			補 助	単 独
※	特別養護老人ホーム建設費償還助成金	29,000		29,000
	升形児童館屋根改修事業	2,000		2,000
	県営基幹水利施設管理事業助成金	6,488		6,488
	国営泉田川土地改良事業償還利子補填助成金	4,039		4,039
	新庄農業水利事業農家負担軽減補助金	64,596		64,596
	県土地改良事業負担金	58,850		58,850
	山形県強い農業づくり交付金事業	2,445		2,445
	国営土地改良事業負担金	208,604		208,604
	市行造林事業	989	989	
	谷地小屋地区ふるさと農道緊急整備事業	56,900		56,900
	交通安全施設整備事業	7,140		7,140
	福田工業団地線道路整備事業	60,000		60,000
	梅ヶ崎吉沢線道路整備事業	40,000		40,000
	沼田角沢線街路整備事業	10,000		10,000
	関屋小檜室線街路整備事業	10,000		10,000
	公共土木事業負担金(道路)	7,450		7,450
	公共土木事業負担金(街路)	4,000		4,000
※	アビエス広場階段改修事業	1,000		1,000
	流雪溝整備事業	30,000		30,000
	市営住宅改修事業	2,108		2,108
	消防施設整備費補助金	2,000		2,000
	小型動力ポンプ積載車整備事業	5,702		5,702
	小型動力ポンプ更新補助金	3,024		3,024
※	萩野小学校校舎屋根塗装事業	2,900		2,900
※	日新中学校管理棟屋根塗装事業	3,300		3,300
※	市民文化会館電動吊物装置改修事業	9,026		9,026
※	市民プラザ大ホール電気機器改修事業	2,182		2,182
	そ の 他	36,895		36,895
	計	670,638	989	669,649

※印は新規事業

一般会計投資的経費以外の主要事業

(単位 千円)

	事業名	事業費	内 訳	
			特定財源	一般財源
※	コミュニティ助成事業	14,300	14,300	0
※	市営バス運行事業	3,775	2,345	1,430
	県議会議員選挙	17,778	17,778	0
	市議会議員選挙	44,718		44,718
	参議院議員通常選挙	27,902	27,902	0
	重度心身障害(児)者医療給付事業	104,132	51,953	52,179
	障害者自立支援給付事業	300,533	224,928	75,605
	地域生活支援事業	22,298	12,422	9,876
	在宅介護支援センター運営事業	4,164		4,164
	高齢者介護支援サービス事業	335,540	465	335,075
※	後期高齢者医療事業	15,706		15,706
	認可外保育施設多子保育料軽減事業	1,332		1,332
	乳幼児医療給付事業	58,072	28,978	29,094
	母子家庭等医療給付事業	14,829	7,379	7,450
	児童手当支給事業	314,040	225,523	88,517
	児童扶養手当支給事業	158,837	52,945	105,892
	民間立保育所運営費負担金	87,309	30,381	56,928
	老人保健対策事業	100,654	56,802	43,852
※	夜間休日診療所管理運営事業	27,994	21,850	6,144
	上水道高料金対策繰出金等	190,955		190,955
	容器包装リサイクル事業	26,325	3,600	22,725
	ゴミ減量化対策事業	17,444		17,444
	バイオマス活用生ごみ収集事業	3,885		3,885
	体験農園管理運営事業	2,889	775	2,114
	エコロジーガーデン推進事業	6,430	968	5,462
※	農地・水・環境保全向上対策事業	15,433	560	14,873
	バイオマス堆肥製造事業	6,062		6,062
※	森づくり推進事業	2,200	2,200	0
	新庄まつり運営事業負担金	13,000	13,000	0
	広域交流拠点施設費等分担金	214,271		214,271
※	洪水ハザードマップ作成事業	1,606	1,000	606
	学校のつばさ支援事業	3,500		3,500
	つまずきのある児童生徒支援事業	6,692		6,692
	市民活動交流ひろば事業	1,869	616	1,253
	市民スキー場管理運営事業	25,970	6,530	19,440

※印は新規事業

平成19年度主要事業の概要

目 次

指定管理者制度活用による施設管理事業	1
市営バス運行事業	2
一般コミュニティ助成事業	3
三位一体の改革に伴う税源移譲	4
夜間休日診療所管理運営事業	5
後期高齢者医療事業	6
洪水ハザードマップ作成事業	7
農地・水・環境保全向上対策事業	8
市営ふるさと農道緊急整備事業	9
消流雪用水事業及び流雪溝整備事業	10
下水道処理場建設事業	11
青少年健全育成体験活動事業	12

新庄市

平成19年度主要事業の概要

(担当課・室)

総務課 協働改革室

事業名	指定管理者制度活用による施設管理事業	事業費	110,403千円
-----	--------------------	-----	-----------

(目的)

公の施設の管理運営に民間の活力を導入することにより、効率的な施設管理を実現するとともに、施設管理の柔軟な対応と雇用機会の拡大を図る。

(平成19年度活用施設と指定管理者)

活用施設	指定管理者	指定期間
新庄市民球場	新庄市施設振興公社	18.4~20.3
新庄市武道館		18.4~20.3
新庄市民スキー場		18.4~20.3
新庄・最上さくらが丘斎苑	(株)ヌマザワ	18.4~20.3
新庄市萩野児童センター	萩野児童センター管理委員会	18.4~20.3
新庄市升形児童館	升形児童館管理委員会	18.4~20.3
わくわく新庄	(株)東北情報センター	18.12~21.3
新庄市本合海児童センター	本合海児童センター管理委員会	19.4~21.3
新庄市屋内ゲートボール場	新庄市ゲートボール協会	17.4~19.3 (19.4~22.3)

本合海児童センター、わくわく新庄の新規活用施設については、安定した施設運営が図られるよう指定管理者との協議を進めていく。

このほかの施設では安定した施設運営の継続と、さらに効率的な施設運営に向けてモニタリングなどの対策を図る。

また、6施設が指定期間の更新期にあたることから、現行の指定管理者制度の問題点と課題を整理し、20年度以降の指定管理者制度の継続活用を目指す。

(今後の制度活用施設)

市民文化会館について平成19年度中の活用を図るとともに、雪の里情報館についても制度活用に向け検討する。

平成19年度主要事業の概要

(担当課・室)

政策経営課 企画政策室

事業名	市営バス運行事業	事業費	3,775千円
-----	----------	-----	---------

1. 目的

自家用自動車の利用の進展に伴い、公共交通機関としての路線バスの利用は、ここ数年大幅に落ちてきている。4月から山交バスが運行していた4路線（県立病院と各地区を結ぶ、土内線、舟形線、堀内線及び羽根沢線）の廃止を受け、児童や高齢者などの交通弱者の足を確保するため、それぞれの路線毎に、以下のとおり対応することとした。

- (1) 県立病院～土内線・・・市営バスとして運行する。
- (2) 県立病院～舟形線・・・新たに、県立病院と鳥越南を起終点として山交バスで運行する。
- (3) 県立病院～堀内線・・・県立病院と芦沢を起終点として、市営バスで運行する。
- (4) 県立病院～羽根沢線・・・鮭川村村営バスが運行する。

2. 市営バス運営内容

- (1) 運行主体・・・新庄市の直営（運転業務及び使用料収納業務は委託）
- (2) 運行車両・・・15人乗り（乗客は14人）普通自動車1台、2路線を1台で運行する。
車体色はライトイエローで、愛称“かむてん号”（車体にキャラクターマークをあしらったデザイン）として運行する。
- (3) 運行態様・・・路線バスの廃止に伴う道路運送法の登録制に基づく自家用車による市町村有償運送。
- (4) 運行日・・・土、日、祝日、1月2～3日及び12月29～31日を除く平日とする。

3. 市営バス運行路線

(1) 県立病院前・土内線

- ・起点、終点及び各停留所については、山交バスの旧路線と同じとする。
- ・運行時刻及び便数は、次のとおり予定している。

	土内	県立病院前
第1便	7:40	⇒ 8:20
第2便	14:00	← 13:20
第3便	16:25	← 15:45

- ・バス料金・・・中学生以下及び障害者は一律100円、高校生以上は地域区分により300円と500円の2段階料金とする。

(2) 県立病院前・芦沢線

- ・終点を市行政区域で利用実績のある芦沢までとし、各停留所は旧路線と同じとする。
- ・運行時刻及び便数は、次のとおり予定している。

	芦沢	県立病院前
第1便	9:00	⇒ 9:30
第2便	15:10	← 14:40

- ・バス料金・・・中学生以下及び障害者は一律100円、高校生以上は地域区分により300円と400円の2段階料金とする。

4. 市営バス運営事業費

- (1) 経費・・・3,775千円
バス運行及び料金収納業務委託費、燃料費、修繕料、車検費用など
 - (2) 収入・・・運賃収入2,026千円（市営バス使用料）、県総合交付金319千円
- ※ 3,775 - 2,026 - 319 = 1,430千円（一般財源負担）

平成19年度主要事業の概要

(担当課・室)

政策経営課 企画政策室

事業名	一般コミュニティ助成事業	事業費	13,500千円
-----	--------------	-----	----------

【趣 旨】

地区住民自らがまちづくりを担うことにより世代間交流が図られ、地域の連帯感に基づく自治意識の高揚、ひいてはコミュニティ活動の促進による健全な地区の発展が達成される。多様化するニーズに対し、これからは地域の課題は地域で解決する力も必要となってくる。その足掛かりとなるべく、新たな地区活動の始動や現在の地区活動を発展させることに活発に努めているコミュニティ組織(町内会、自治会、またはその連合組織等)に対し支援する。

【事業内容】

コミュニティ組織の申請により100万円～250万円の範囲でコミュニティの組織力を高揚させる活動に必要な備品の購入費を助成する。財源は(財)自治総合センター一般コミュニティ助成事業助成金。

【事業費】

6団体 総額13,500千円

実施団体	事業内容	整備内容	助成金額
角沢部落会	除雪機の整備	除雪機、格納庫	1,800千円
末広町若連	祭り用品の整備	法被、テント	2,000千円
沖の町若連	祭り用品の整備、	山車台車、法被、帯、横断幕、テント	2,200千円
千門町町内会	祭り用品の整備 屋外音響設備の整備	法被、帯、横断幕、太鼓、笛、鐘等 屋外音響設備一式	2,500千円
小月野自治会	祭り用品の整備	法被、太鼓、物置	2,500千円
上南本町町内会	屋外音響設備の整備 野外用備品の整備	屋外音響設備一式 テント、テーブル、イス、物置	2,500千円

平成19年度主要事業の概要

(担当課・室)

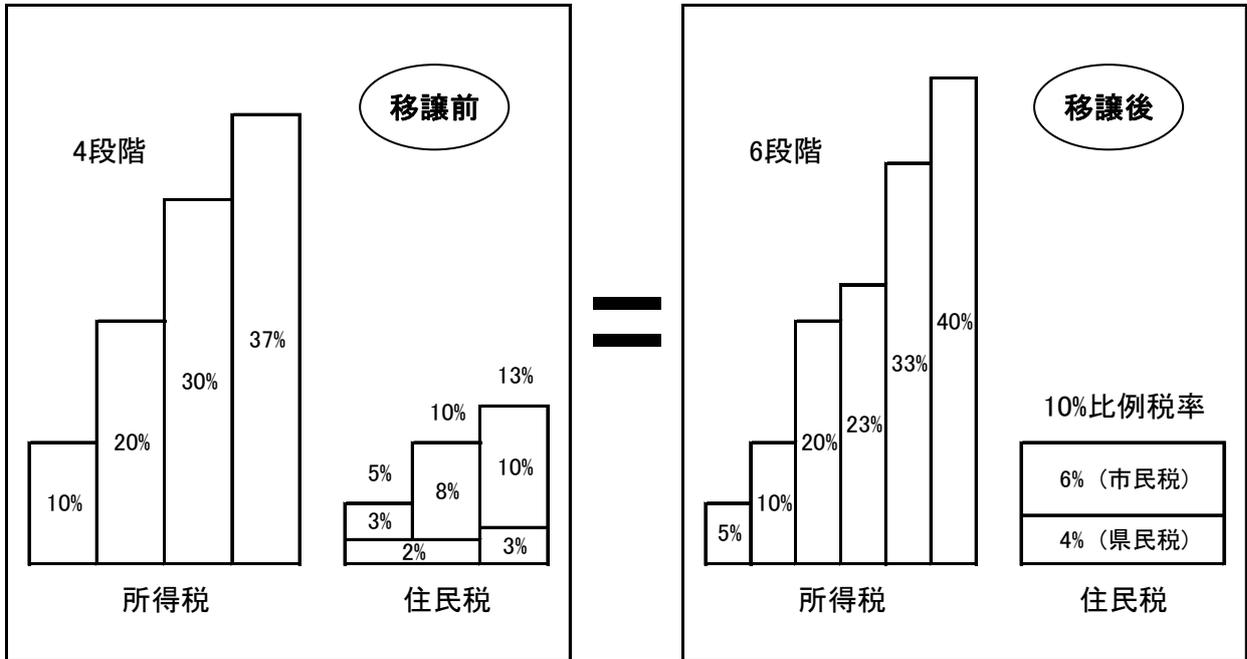
税務課 課税室

事業名	三位一体の改革に伴う税源移譲	事業費	328,845千円
-----	----------------	-----	-----------

「三位一体の改革」に伴い、平成18年度税制改正で、国の所得税の一部（3兆円規模）を地方の個人住民税へ税源移譲することとなった。

これにより、個人住民税の所得割の税率が従来の3段階（5%、10%、13%）から一律10%の比例税率に改正されることとなった。

なお、税源移譲に伴い、個人住民税の税率が引き上げられても、その分、所得税の税率が引き下げられるので、基本的に所得税と個人住民税とを合計した負担額は、税源移譲を行う前と変わらないものとなっている。ただし、定率減税は個人住民税が19年度課税分から廃止され、所得税は19年分から廃止されることとなっている。



給与収入	税源移譲前(単位:円)			⇒	税源移譲後(単位:円)			=	負担増減額
	所得税	住民税	合計		所得税	住民税	合計		
300万円	0	9,000	9,000		0	9,000	9,000		0円
500万円	119,000	76,000	195,000		59,500	135,500	195,000		0円
700万円	263,000	196,000	459,000		165,500	293,500	459,000		0円
1,000万円	688,000	442,000	1,130,000		590,500	539,500	1,130,000		0円

※夫婦+子供2人の場合、子供のうち1人が特定扶養親族に該当するものとしている。

※一定の社会保険料が控除されるものとして計算している。

平成19年度主要事業の概要

(担当課・室)

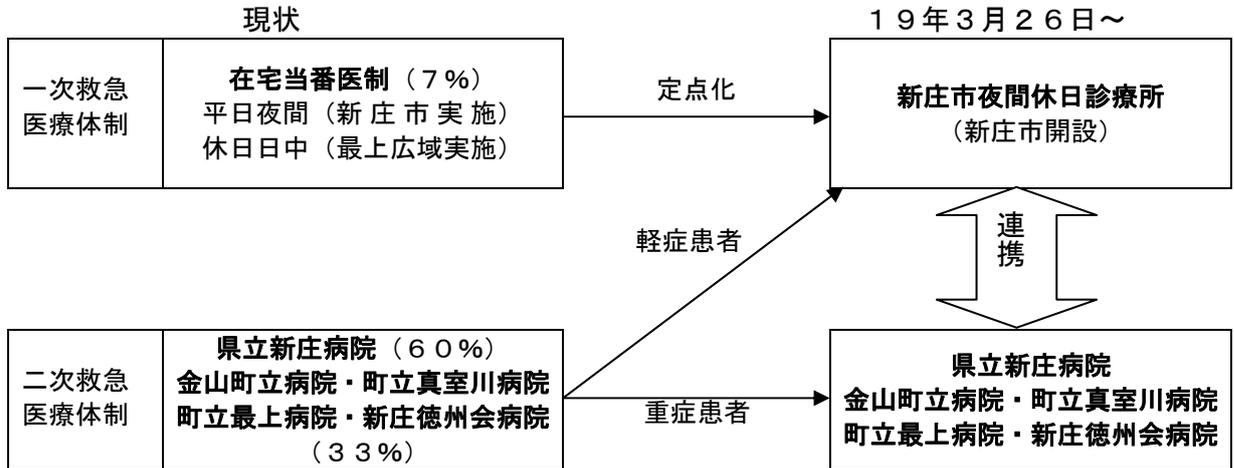
健康課 健康推進室

事業名	夜間休日診療所管理運営事業	事業費	27,994千円
-----	---------------	-----	----------

1. 診療所設置の目的

新庄・最上地域の夜間・休日における一次救急医療は、これまでは、在宅当番医制により実施してきたが、「当番医がわかりづらい」、「利用者が少ない」、「県立新庄病院に患者が集中」といった問題点を抱えていた。原因の1つとして、二次救急医療機関との役割分担が不十分な点があり、本来一次救急医療機関が担当すべき軽症患者の多くが県立新庄病院等の二次救急医療機関に集中していたが、診療所の設置（定点化）により「場所がわかりやすくなる」、「診療科目がわかりやすくなる」、「一次・二次医療の役割分担が図られる」といった効果が得られる。

2. 救急医療体制の変更



3. 夜間休日診療所の概要

開設期日 平成19年3月26日 (月)
 名称 新庄市夜間休日診療所
 場所 市保健センター内
 診療科目 内科・小児科
 診療時間 平日夜間 (月～土) 午後7時～午後9時30分
 休日日中 (日・祝日・年末年始) 午前9時～午後5時
 医師 1人 (新庄市最上郡医師会、県立新庄病院、最上地域公立病院・診療所の医師が当番で診察に当る)

4. 事業費の内訳

収入 21,850千円 (診療報酬収入等)
 支出 27,994千円
 内訳 医師会委託 14,166千円
 看護師賃金 4,410千円
 医療事務委託 3,310千円
 医薬材料費 4,800千円
 その他 1,308千円

平成19年度主要事業の概要

(担当課・室)

健康課 国保医療室

事業名	後期高齢者医療事業	事業費	26,801千円										
<p>1 制度について</p> <p>(1) 超高齢化社会を展望した新たな医療保険制度体系の実現を図るために創設された。 75歳以上の後期高齢者（現行 老人保健制度）については、独立した医療制度を平成20年4月から適用する。</p> <p>(2) 制度の運営主体 都道府県ごとに全市町村が加入する広域連合（特別地方公共団体）が財政運営。</p> <p>(3) 広域連合と市町村の連携 広域連合は、市町村からの被保険者の住基情報や所得情報の提供により、保険料の算定、保険料の賦課、保険料の特別徴収、被保険者証の引渡し等を行う。 広域連合経費は、法律で規定された医療給付に要する経費、保険料その他の給付金のほか、広域連合の運営に要する経費は共通経費として一定割合（均等割10%、高齢者人口割45%、人口割45%）で市町村が負担する。 広域連合共通経費 466,999千円 <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>新庄市負担金</td> <td>14,726千円（一般会計）</td> </tr> </table> </p> <p>(4) 山形県後期高齢者医療広域連合（平成19年2月1日設立。）</p> <p>2 制度移行のためのシステム開発について</p> <p>(1) 住民情報・税情報提供システム改修 5,250千円</p> <p>(2) 保険料収納管理システム改修 2,100千円</p> <p>(3) 電算システム・回線接続設定 525千円</p> <table border="1" style="margin-left: 100px;"> <tr> <td>計</td> <td>7,875千円（一般会計）</td> </tr> <tr> <td>（国庫補助</td> <td>3,675千円）</td> </tr> </table> <p>(4) 前期高齢者特別徴収システム及び後期高齢者支援金区分等システム</p> <table border="1" style="margin-left: 100px;"> <tr> <td></td> <td>4,200千円（国保会計）</td> </tr> <tr> <td>（国庫補助</td> <td>2,500千円）</td> </tr> </table>				新庄市負担金	14,726千円（一般会計）	計	7,875千円（一般会計）	（国庫補助	3,675千円）		4,200千円（国保会計）	（国庫補助	2,500千円）
新庄市負担金	14,726千円（一般会計）												
計	7,875千円（一般会計）												
（国庫補助	3,675千円）												
	4,200千円（国保会計）												
（国庫補助	2,500千円）												

平成19年度主要事業の概要

(担当課・室)

環境課 消防交通室

事業名	洪水ハザードマップ作成事業	事業費	1,606千円
-----	---------------	-----	---------

(背景)

平成16年は、新潟・福島豪雨や福井豪雨など、全国各地で大きな被害をもたらした豪雨災害が発生した。このような水害の防止を目指し、堤防等の治水施設の整備などによるハード対策を推進する一方で、災害情報の伝達体制や避難誘導體制の充実、住民の防災意識の高揚等、ソフト面での対策も重要視されるようになった。

(水防法の改正)

このような背景から、国は平成17年に水防法の一部を改正し、破堤等による洪水時の浸水想定区域を指定する河川を、国管理の河川に加えて県管理の中小河川にまで広げた。

また、市町村に対しては、浸水時の水深、洪水予報等の伝達方法、避難場所や避難経路等を記載した印刷物の配布その他の措置を講じて、住民に周知することを義務づけた。

(山形県の対応)

山形県は、平成17～21年度の実施計画で県内の主要57河川の氾濫解析を行い、浸水想定区域を指定するとともに、関係市町村に情報の提供を行っている。

平成18年度には、新庄市内の4河川(泉田川・大以良川・指首野川・升形川)の氾濫解析を行っており、19年度に市に情報を提供することとなっている。

(平成19年度の市の事業)

国・県の補助制度を活用して、国で調査した最上川の情報と県から提供された4河川の情報を併せて洪水ハザードマップを作成する。

(今後の対応)

平成20年度以降は、作成したハザードマップを印刷し、浸水想定区域に指定された周辺住民に対する説明会を通して、平常時からの防災意識の向上と自発的な避難の心構えを養い、警戒時・災害時における住民の円滑かつ迅速な避難が可能となるよう活用する。

(補助の内訳)

1. 国の補助・・・総合流域防災事業費補助金 50万円
2. 県の補助・・・山形県洪水ハザードマップ調査事業費補助金 50万円

平成19年度主要事業の概要

(担当課・室)

農林課 農林振興室

事業名	農地・水・環境保全向上対策事業	事業費	15,433千円
-----	-----------------	-----	----------

平成19年度から始まる経営所得安定対策の一環の事業であり、農村地域を面として活性化するための対策である。品目横断的経営安定対策との関係は「車の両輪」と位置付けられている。

施策の対象者は、担い手以外も含めた多様な主体が参画する地域共同体となっている。農業者だけでなく、地域住民等が参画する活動組織を設置しなければならない。

その組織が、地域の共同活動として、農地・農業用水等の資源を保全する取り組みと面的拡がりを持った環境の保全に資する営農活動に対して支援をするものである。

共同活動については平成19年度から5年間の取り組みであり、営農活動は20年度以降からの取り組みでも可能とするものである。19年度は、市内の農村集落68のうち、55の集落が34の活動組織を構成して共同活動に取り組む予定で、営農活動は1集落が取り組む予定である。共同活動の活動面積は、田で約4300haであり、固定資産概要調書による田の面積約5100haの約84%を占める。

共同活動への支援の額は、その活動面積に応じて定められ、その範囲で「基礎活動」のほかに「農地・水向上活動」や「農村環境向上活動」を一定程度以上を実施しなければならない。国の示す10アール当たりの支援単価は、田の場合に4,400円となっているが、山形県の場合には「基盤整備が進んでいることから、実際の保管理にはそれほどの費用がかからない」との理由で、地方裁量として適用面積の拡大をした。20アール当たり4,400円とし、実質的に単価を国の1/2とすることで統一になった。畑・樹園地、草地も同様である。

本事業は、地方(各自治体)での事情によって適用の工夫が認められており、新庄市では支援面積について独自の考えを適用している。活動面積から生産調整非協力者の面積及び中山間直接支払事業対象面積を差し引き、さらに県平均に比べても新庄市は圃場整備率が高いことから、その2/3の面積に対して支援の算定をすることとした。支援交付金の額は、この面積に県内統一単価の額を乗じたものとなる。一方、営農活動については、その作物と取り組み面積により額が算定されるものである。

この結果、共同活動と営農活動に対する支援金総額は、59,490千円と見込まれる。その負担区分は、国が1/2、県と市が1/4ずつで、県にひとつ設置される地域協議会へ負担金として支出をし、各活動組織へは地域協議会から支援金が交付されるものである。その新庄市の負担する予算額が14,873千円、事業推進のための事務経費560千円の合計15,433千円が全体事業費である。

平成19年度主要事業の概要

(担当課・室)

農林課 農林振興室

事業名	市営ふるさと農道緊急整備事業(谷地小屋地区)	事業費	57,000千円
<p>・本地区の受益地は、県営ほ場整備事業「野中地区」として昨年平成18年度完成し、また団体営土地総事業「谷地小屋北地区」として平成9年度整備済みの地域である。本地区の北側区間L=430m(橋梁部L=80m)については県営ふるさと農道緊急整備事業「野中地区」で平成15年度から平成19年度までの5年間で総事業費C=510,000千円で整備中である。市営ふるさと農道緊急整備事業(谷地小屋地区)は、この県営事業の南側終点と市道谷地小屋上山崎線を結ぶものでL=804.3mを平成18、19年度の2ヵ年で整備するものである。</p> <p>この農道が完成することにより、ライスセンターや基幹的農業生産施設とが最短で結ばれ、農産物等の合理的な流通、更には野菜や特産品などの青果物市場や産地直売所への出荷が容易になり、地域農業の振興に大きな力となることが期待される。また、生活道路としても市街地へのアクセスが改善され利便性や安全性が格段に向上し、地域の活性化に寄与することが期待されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業期間：平成18年度～平成19年度 ・事業費：C=62,000千円 <ul style="list-style-type: none"> 平成18年度丈量測量 C=5,000千円 平成19年度 用地補償、舗装工事 57,000千円 ・施工延長：L=803.4m(全幅W=9.0m 車道幅員W=5.5m 歩道幅員W=2.5m) <p>※県営のふるさと農道緊急整備事業と協力し、平成19年度供用開始を目指す。</p>			

平成19年度主要事業の概要

(担当課・室)

都市整備課 まちづくり計画・雪対策室

事業名	消流雪用水事業及び流雪溝整備事業	事業費	45,354千円
<p>《消流雪用水事業》</p> <p>平成16年3月に策定した第2次新庄市総合雪対策基本計画は、「克雪・利雪・親雪」を柱とし、平成16年度から平成26年度までを短期計画、平成27年度から平成39年度までを長期計画と定め、「雪に強いまちづくり」を構築していくこととしている。</p> <p>克雪に関して、特に流雪溝整備を積極的に進めることとしており、昭和45年に流雪溝を供用したのを皮切りに逐次整備を進めてきており、平成14年度までの整備状況としては、12地区の43.9kmの供用に至っている。全体計画では、平成39年度の供用を目標として、現用途地域を中心に市街地約574haを21ブロックに分割して整備し、溢水対策としての既設流雪溝の改良・再整備等も含め、総延長約92kmの流雪溝を整備していくこととしている。</p> <p>しかし、供用済みの地区であっても、厳寒期には十分な流量が確保できずにいる現状にあり、計画を推進する上では、新たな安定した水源の確保が喫緊の課題となっている。</p> <p>これまでも水源の確保については、井堰やため池の有効活用を図るとともに、効率的な流水の反復利用を行ってきたが、安定した水源の確保としては豊富な流量を保つ最上川に依存することとし、平成14年度と15年度に関係機関の協力を得て、既存施設である国営新庄農業水利施設を使用し、最上川からの試験通水を実施し、その有効性の検証といくつかの重要な課題について確認している。今後、最上川から通水を行うために、河川法、土地改良法等の手続きを含め、関係機関と協議を重ね課題を整理しており、目標年次としてきた平成18年度の厳寒期には、自然流水の動きと降雪状況を勘案しながら、水利権取得を目指した通水試験を継続して行うことの協議が整っており、河川の流量、既存取水施設の流量等を観測しているところであり、河川の流量が少ない場合において、最上川から補水することとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設管理業務委託料 3,601千円 ・測量設計業務委託料 1,941千円 ・清水揚水機場他電気料 8,377千円 ・修繕料 576千円 ・重機借り上げ料 379千円 ・その他 480千円 <p>(賃金、旅費、消耗品、検定料、保険料、負担金・補助金)</p> <p>《流雪溝整備事業》</p> <p>流雪溝整備においては、本計画を基本として整備を図ることとしているが、平成15年度から休止していた流雪溝整備を平成18年度から再開し、溢水対策も含めた整備を進めており、平成19年度においても溢水対策を主眼においた整備を実施し利便を図ることとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業箇所 3箇所 (内訳) <ul style="list-style-type: none"> 上金沢町・末広町地区 2箇所 万場町・大町地区 1箇所 ・実施延長 760.0m ・事業費 30,000千円 			

平成19年度主要事業の概要

(担当課・室)

下水道課 業務・普及室

事業名	下水道処理場建設事業	事業費	176,000千円				
<p>〈事業目的〉</p> <p>本市の浄化センターは、平成元年10月の供用開始以来、17年が経過し、供用当初より稼働中の施設において、老朽化が著しい状況であるため、平成15年度に改築診断を行った結果、計画的な改築が急務と判断された。また、流入汚水量の増加に伴い施設能力の不足傾向もみられるため、平成19年度から水処理施設の増設工事を優先的に実施し、引き続き平成20年から24年度までの期間で改築工事を実施しようとするものである。</p> <p>〈事業概要〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 日最大処理水量を、現在の9,000 m³/日から12,000 m³/日に拡大する ○ 老朽化した供用開始済みの水処理設備、汚泥処理設備を改築する <p>〈19年度の実施事業〉</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 70%;">水処理設備工事、汚泥処理設備工事、電気設備工事（補助）</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">16,600万円</td> </tr> <tr> <td>改築に伴う実施設計業務委託（補助）</td> <td style="text-align: right;">1,000万円</td> </tr> </table>				水処理設備工事、汚泥処理設備工事、電気設備工事（補助）	16,600万円	改築に伴う実施設計業務委託（補助）	1,000万円
水処理設備工事、汚泥処理設備工事、電気設備工事（補助）	16,600万円						
改築に伴う実施設計業務委託（補助）	1,000万円						

平成19年度主要事業の概要

(担当課・室)

生涯学習課 市民プラザ

事業名	青少年健全育成体験活動事業	事業費	800千円
・・・平成19年度コミュニティ助成事業（青少年健全育成事業）			
【目的】 親子参加による体験活動を通し、世代間及び同世代における交流を深めることとともに、ボランティア体験・活動といった、地域コミュニティにおける青少年の新たな学習・体験活動の機会を提供できるようなコーディネーターを養成するきっかけづくりとする。			
【事業概要】			
野外体験			
・プロジェクトアドベンチャー（野外における冒険教育プログラム）ゲーム体験 ・・・講師：プロジェクトアドベンチャージャパンスタッフ			
・スターウォッチング・ナイトハイキング			
地域ボランティア活動コーディネーター研修会			
・ボランティア等の地域における新たな青少年活動の進め方のノウハウとスキルを学ぶ。 ・・・講師：廣瀬 隆人氏（予定 宇都宮大学教授 専門：成人教育学・ボランティア・NPO論）			
日 時：平成19年9月1日（土）～2日（日）			
会 場：神室少年自然の家			
対 象：市内小学生親子30組			
参 加：無 料			
【実施効果】			
新しい学習プログラムを通し、親子においては信頼関係を、子ども同士においては友情を深めることができるほか、青少年が地域コミュニティを中心とした新たなまちづくりに参加することができるきっかけづくりとする。			
また、市青少年育成推進委員や高校生ボランティアら等も参加した事業の推進体制を図ることにより、地域における青少年健全育成の活性化も期待できるものである。			

平成 1 9 年 度

新 庄 市 水 道 事 業 会 計

当 初 予 算 内 示 資 料

平成19年度 新庄市水道事業主要事業

1. 給水件数	12,189 件
2. 年間総給水量	4,192,395 m ³
3. 一日平均給水量	11,486 m ³
4. 主要な建設改良事業	
(ア)給配水設備工事費	461,478 千円
(イ)第6次拡張事業費	13,650 千円

平成19年度 水道事業会計当初予算 (資料)

◎ 収益的收入 (単位:千円、%)

項 目	19年度予定額	18年度当初予定額	増 減	対前年度比率
1. 水道事業収益	1,327,013	1,297,401	29,612	102.3
1. 営業収益	1,131,160	1,099,357	31,803	102.9
2. 営業外収益	195,851	198,042	△ 2,191	98.9
3. 特別利益	2	2	0	100.0

◎ 収益の支出 (単位:千円、%)

項 目	19年度予定額	18年度当初予定額	増 減	対前年度比率
1. 水道事業費用	1,292,466	1,263,860	28,606	102.3
1. 営業費用	1,097,075	1,073,413	23,662	102.2
2. 営業外費用	190,889	185,890	4,999	102.7
3. 特別損失	2,502	2,557	△ 55	97.8
4. 予備費	2,000	2,000	0	0.0

◎ 資本的收入 (単位:千円、%)

項 目	19年度予定額	18年度当初予定額	増 減	対前年度比率
1. 資本的收入	82,401	61,591	20,810	133.8
1. 工事負担金	13,300	8,100	5,200	164.2
2. 補助金	50,000	35,000	15,000	142.9
3. 出資金	19,101	18,491	610	103.3

◎ 資本的支出 (単位:千円、%)

項 目	19年度予定額	18年度当初予定額	増 減	対前年度比率
1. 資本的支出	714,141	535,330	178,811	133.4
1. 建設改良費	468,303	265,678	202,625	176.3
2. 第6次拡張事業費	13,650	0	13,650	皆増
3. 開発費	27,300	75,000	△ 47,700	36.4
4. 企業債償還金	202,759	194,651	8,108	104.2
5. 国庫補助金返還金	2,129	1	2,128	212,900.0

◎ 資本的収支の補てん財源 (単位:千円、%)

項 目	19年度予定額	18年度当初予定額	増 減	対前年度比率
補てん財源	631,740	473,739	158,001	133.4

内 訳

- | | |
|--------------------------|------------|
| 1. 当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額 | 24,095 千円 |
| 2. 過年度損益勘定留保資金 | 607,645 千円 |

平成19年度 主要事業の概要

事業名	水道未普及地域解消事業 (第6次拡張事業)	事業費	13,650千円
-----	--------------------------	-----	----------

目的

水道未普及地域解消計画に基づき、行政区域内のおおむね全てを給水区域とし、飲料水の安全確保を図るため事業を実施するものである。

事業の概要

事業実施地区は中川原・野中・滝ノ倉・冷水沢・泉ヶ丘の5地区(153世帯690人)であり、配水管総延長12km・鉄道横断1箇所・橋梁添架5箇所を施工予定である。

全体事業費(予定)

事業期間	平成19年度～平成22年度
補助区分	水道未普及地域解消事業(飛地区域)
総事業費	491,300千円
補助対象事業費	462,000千円
国庫補助金	154,000千円
工事内容	PPφ30mm～DIPφ150mm L=12km 鉄道横断1箇所・橋梁添架5箇所

平成19年度事業費

事業費	13,650千円
事業内容	認可申請業務委託

年次計画

年次	19	20	21	22	計
事業費(千円)	13,650	198,450	164,400	114,800	491,300
進捗率(%)	2.8	43.2	76.6	100	

平成19年度 主要事業の概要

事業名	老朽管更新事業	事業費 216,000千円
-----	---------	---------------

・ 目的

布設後30年以上経過した老朽管(鑄鉄管)は、経年により折損事故が多発している、そのため上記補助事業により布設替を行い、水道水の安定供給を図る。

・ 事業の概要

上水道区域に布設されている配水管総延長262Kmのうち、7.6Kmを平成16年度より平成22年度までの7ヶ年で耐震管(ダクタイル鑄鉄管NS型)に布設替を行う。

・ 全体事業費

事業期間	平成16年度～平成22年度
補助区分	水道管路近代化推進事業
総事業費	750,000千円
補助対象事業費	600,000千円
国庫補助金	200,000千円
工事内容	φ75～φ300 L=7,600m

・平成19年度事業費

総事業費	216,000千円
工事内容	φ100～φ300 L=2,630m

・年次計画

年次	16	17	18	19	20	21	22	計
事業費	97,245	153,905	103,966	216,000	60,000	60,000	58,884	750,000
進捗率(%)	13.0	33.5	47.3	76.1	84.1	92.1	100.0	

平成19年度 工事予定一覧

工事費

図面 番号	予定工事名	管種・口径・延長	関連事業名
1	本町地区配水管布設替工事	DIPφ300 L=360m DIP φ100L=170m	老朽管更新事業
2	大町地区配水管布設替工事	DIPφ250 L=400m	
3	常葉町地区配水管布設替工事	DIPφ200 L=1,200m	
4	沖の町地区配水管布設替工事	DIPφ200 L=500m	
5	東山地区配水支管布設替工事	PPφ40 L=130m PPφ50 L=45m	下水道関連
6	下金沢町地区配水支管布設替工事	PPφ30 L=30m	
7	松本地区配水管布設工事(第1工区)	DIPφ100 L=165m	新庄戸沢線関連
8	松本地区配水管布設工事(第2工区)	DIPφ500 L=160m DIPφ150L=160m	
9	宮内地区配水管布設工事(第1工区)	DIPφ75 L=240m	
10	宮内地区配水管布設工事(第2工区)	DIPφ100 L=140m	
11	北道路関連配水管布設替工事(第1工区)	DIPφ250 L=210m	北道路関連
12	北道路関連配水管布設替工事(第2工区)	DIPφ150 L=80m	
13	北道路関連配水管布設替工事(第3工区)	DIPφ150 L=140m	
14	北道路関連配水管布設替工事(第4工区)	DIPφ100 L=90m	
15	北道路関連配水管布設替工事(第5工区)	DIPφ500 L=80m	
16	北道路関連配水管布設替工事(第6工区)	DIPφ100 L=120m	
17	沖の町地区配水管布設替(管)工事	DIPφ150 L=90m DIPφ200L=210m	単独工事
18	沖の町地区配水管布設替(土木)工事	土工延長L=300m	
19	福田地区配水管布設工事	DIPφ200 L=220m	
20	上金沢町地区配水管布設替工事	VWPφ75 L=310m	
21	赤坂地区水管橋補修工事	SUSφ300L=12.1m φ100L=12.1m	
22	大手町地区配水管布設替工事	DIPφ100 L=110m	
23	栄町地区配水支管布設替工事	PPφ30 L=80m	
24	宮内町地区配水支管布設工事	PPφ50 L=50m	
25	上下水道庁舎無停電電源装置蓄電工事	蓄電池86セル	
26	指首野浄水場無停電電源装置蓄電工事	蓄電池86セル	
27	春日橋配水管橋梁再添架工事	SUSφ150 L=50m	
28	瑞雲院橋水管橋補修工事	SUSφ100 L=30m	

業務委託

	万場町外配水管路測量設計業務委託	測量設計延長1500m	委託関連
	北道路関連配水管路移設設計業務委託	φ75~500 L=700m	
	中川原地区認可設計業務委託		
	春日橋外6橋橋梁添架設計業務委託	春日橋・中野川橋(2橋)・新堰・瑞雲院橋・赤坂(2橋)	
	円満寺地区配水管軌道横断設計業務委託		

1-2-1-16 開発費

	管路台帳補正業務委託	データ更新(給水1000戸・管弁類60Km外)	
--	------------	-------------------------	--